

教育委員会会議録

(定例会)

令和3年8月26日開催

さいたま市教育委員会

1	期	日	令和3年8月26日(木)		
2	場	所	教育研究所		
3	開	会	午前9時30分		
4	出	席	教 育 長	細 田 眞由美	
		委 員	教育長職務代理者	大 谷 幸 男	
			委 員	石 田 有 世	
			委 員	野 上 武 利	
			委 員	武 田 ちあき	
			委 員	柳 田 美 幸	
5	議場	に出席した者	副教育長	高 崎 修	
			管理部長	栗 原 章 浩	
			学校教育部長	平 沼 智	
			生涯学習部長	千 葉 裕	
			中央図書館長	内 山 恵 介	
			管理部参事兼学校施設課長	渋 谷 貴 之	
			学校教育部参事兼教職員人事課長	清 水 一 司	
			学校教育部参事兼指導1課長	藤 田 昌 一	
			学校教育部参事兼特別支援教育室長	内 河 水穂子	
			学校教育部参事兼高校教育課長	山 本 康 義	
			中央図書館参事兼管理課長	樋 爪 勇 司	
			教育財務課長	竹 内 孝 央	
			学事課長	内 田 佳 孝	
			健康教育課長	宮 野 充	
			教育研究所長	深 津 健太郎	
			さいたま市立浦和高等・中学校長	吉 野 浩 一	
			さいたま市立浦和南高等学校長	上 原 一 孝	
			さいたま市立大宮北高等学校長	竹 越 利 之	
			さいたま市立大宮国際中等教育学校長	関 田 晃	
6	会議録署名委員		大 谷 幸 男		

7 議事等の概要

- 細田教育長 それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。
- 書記 はい、7名いらっしゃいます。
- 細田教育長 本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、傍聴を許可します。
- 細田教育長 本日の会議録の署名委員は、大谷委員にお願いいたします。
本日の会議に、議案第44号「さいたま市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について」を追加提出いたします。
本日の報告第3号は人事に係る案件、報告第6号は国から公表時期に関して要請があり、市情報公開条例第7条第6号に規定する不開示情報に該当する案件であることから非公開とすることをお諮りしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。
- 各委員 <異議なし>
- 細田教育長 それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、報告第3号、第6号は非公開といたします。
会議の順番ですが、報告第4号、5号、議案第39号、44号、40号、41号、42号、43号、そして非公開とする報告第3号、6号の順に審議を行うことといたします。
なお、本日の議案のうち、報告第3号、4号は、緊急に処理する必要があると認められ、かつ、会議を招集するいとまがないことから、さいたま市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定により臨時代理いたしましたので御報告するものでございます。
- 報告第4号 令和3年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）について
- 細田教育長 報告第4号につきまして、事務局から説明をお願いします。
- 教育財務課長 報告第4号、令和3年度さいたま市一般会計補正予算（教育費）について御説明させていただきます。

まず、資料の1ページをお願いいたします。今回の報告の内容は令和3年さいたま市議会9月定例会に提出する、さいたま市一般会計補正予算の教育費部分についてでございますが、冒頭で御説明のあったとおり、緊急に処理する必要があり教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、臨時代理させていただいたものでございます。続きまして7ページをお願いいたします。提案理由になります。今回の補正予算は令和3年度に予定していた中学校、高等学校の修学旅行の中止・延期により発生する経費を公費により負担するために、必要な経費について市長に申し出るものになっております。4ページをお願いいたします。今回は歳出のみの補正予算でございます。合計補正額は3,043万8千円の増額補正をするものでございます。詳細については後ほど御説明させていただきます。続きまして6ページが事項別明細書になります。3目の教育指導費、2目の学校管理費が補正の対象となります。9ページをお願いいたします。事務事業概要になります。まず上段にあります指導1課所管の学校教育推進事業でございますが、こちらが新型コロナウイルス感染症の影響により中学校の修学旅行を中止及び延期したことに伴い発生する費用を公費にて負担するための経費について補正を行うものとなっております。続きまして、下段が高校教育課所管の高等学校管理運営事業でございます。こちらと同じく新型コロナウイルス感染症の影響により、高等学校の修学旅行を延期したことに伴い発生する費用を公費にて負担するための経費について補正を行うものとなっております。

説明は以上です。よろしくをお願いいたします。

細田教育長

説明が終了いたしました。委員の皆様、御質問等はございますか。

大谷委員

新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校、高等学校の修学旅行を中止及び延期したことに伴い発生する費用ということだが、旅行会社に損害を補償することなのか、具体的に御説明いただければありがたいと思います。

指導1課長

中学校は新型コロナウイルス感染症の影響に伴いまして、1学期に29校が延期をいたしました。そこで発生したキャンセル料でございます。例えば宿泊取消料とか企画料、このような延期等に伴ってかかった費用でございます。

高校教育課長

高等学校におきましては高等学校1校の海外修学旅行の国内への

細田教育長 延期に係る企画料ということでございます。

それでは、この件は終了といたします。

報告第5号 令和2年度さいたま市一般会計歳入歳出決算（教育費）について

細田教育長 続きまして、報告第5号について、事務局から説明をお願いします。

教育財務課長 資料の10ページをお開きください。報告第5号、令和2年度さいたま市一般会計歳入歳出決算（教育費）につきまして、御説明させていただきます。

資料11ページをお願いいたします。こちらが教育委員会に係る令和2年度歳入歳出決算の状況となっております。なお、決算額等を読み上げる際は、千円未満を切り上げ、千円単位とさせていただきます。まず、上段の歳入の表の一番下の行、局合計の欄を御覧ください。教育委員会全体で当初予算額が141億8,130万6千円、その隣の補正予算額と前年度からの繰越財源充当額、これを加えた最終の予算現額が171億8,089万5千円となっております。歳入の予算額が見込みに基づいて作成した金額であるのに対し、実際に収入すべきものとして決定した額、これを調定額と呼んでおりますが、調定額は教育委員会全体で167億4,528万1千円となっております。そのうち実際に納入された金額、これが収入済額、網掛けになっておりますが、155億8,109万3千円であり、この収入済額がいわゆる教育委員会の歳入の決算額となっております。歳入の中で収入済額が一番大きいのは、表の上から3行目18款国庫支出金、補助金ですね、これが決算額の約95%で収入済額は148億5,290万8千円となっております。

続きまして、右から2番目が不能欠損額になります。これはすでに調定した歳入が督促等を行ったにもかかわらず納付されずに時効が到来してしまった場合、もしくは法令等に基づいて債務を免除した場合等について本市として処分した額を不能欠損額と言いますが、令和2年度は教育委員会としては189万5千円生じております。具体的に申しますと、この189万5千円は全額、さいたま市入学準備金・奨学金の借受人が亡くなったことによって、入学準備金・奨学金の貸付条例の規定に基づきまして、返還免除を行ったため不能欠損としたものでございます。続きまして、一番右側の列になりますが、これが収入未済額、収入すべき金額として調定を行ったものの、年度内に収入できなかった金額となります。これが11億6,229万3千円となっております。収入未済額のうちのほとんどが18款の国庫支出金

になりますが、これは国の補助事業に基づいて事業を行ってりましたが、年度内に完了しなかったものについて補助金を繰越処理したもので、事業の進捗に合わせて今年度以降に収入される予定になっております。

続きまして、下の段の歳出の表を御覧ください。こちらは職員人件費を除きます、教育費全体の決算状況となります。人件費を除く理由ですが、9月議会において市長より市議会に提出される行政報告書の決算概要が人件費を除いていることから、こちらも同じように人件費を除いて報告させていただきます。令和2年度当初予算は287億3,479万4千円で、それに補正予算額、前年度からの繰越額を加えた373億7,083万9千円が最終の予算現額となっております。

予算現額に対しまして実際に支出した支出済額の合計は281億9,792万9千円、この支出済額が教育委員会の人件費を除く令和2年度の歳出の決算額となります。表に記載はありませんが、対前年度比で約19億円の減となっております。主な理由ですが、GIGAスクール構想による校内通信ネットワーク環境の整備等で、教育研究所費が約23億円増加しましたが、令和元年度に完了した中学校の照明LED化、空調機設置のESCO事業、美園南中学校の整備費が約44億円減少しましたので、差し引き約19億円の減となっております。

支出済額に対して翌年度への繰越額が55億9,204万7千円、これを除く一番右側の数字35億8,086万5千円、これが令和2年度予算に対して生じた不用額となっております。

続きまして12ページをお開きください。令和2年度決算につきましては、9月定例会において決算書等を提出し、議会の認定に付されることとなっておりますが、制度上事前に監査委員の審査を受けることになっておりますので、7月に監査事務局において決算審査が実施されましたので、その時に出した資料がこの12ページ以降の資料になりまして、学校施設リフレッシュ推進事業、13ページのスポーツを科学する生徒の育成事業、次のページの図書館施設リフレッシュ事業、この3事業を令和2年度の主な事業として監査事務局に資料を提出しましたので、この3事業について御説明させていただきます。

まず、12ページの学校施設課所管の学校施設リフレッシュ推進事業になります。調書上段の「1 事業の概要」ですが、安心・安全で持続的な教育環境を確保するための学校施設リフレッシュ基本計画に基づきまして、計画的な改修・建替えを実施するものとなっております。続きまして中段の「2 事業の実施状況等」ですが、右側の②を中心に御説明しますと、令和2年度は計画的な改修・改築を実施す

るための実施設計を小学校6校、中学校1校、工事を小学校3校で実施しました。また、学校施設リフレッシュ基本計画を改定するための業務委託も実施したところでございます。続いて③の主な事業費の内訳ですが、設計業務として委託料4,844万円、仮設校舎の賃借料として1億3,329万6千円、改築工事として工事請負費4,459万円、改修工事として工事請負費7億4,093万6千円でございます。「3歳出予算執行状況」ですが、上段が令和2年度の歳出になります。Aの欄が最終予算現額、合計14億8,278万5千円に対して、Bの欄、支出済額合計は10億6,882万2千円、Dの欄、不用額5,055万4千円となっており、執行率は72.1%となっております。

続きまして13ページが高校教育課所管のスポーツを科学する生徒の育成事業でございます。上段の「1事業の概要」でございますが、本事業は企業や大学と連携し、科学的な分析を用いて、運動部活動における生徒の競技力の向上のほか、課題の分析・解析力を高めるスポーツを科学する生徒の育成を目指すものでございます。続きまして中段の「2事業の実施状況」の②を中心に御説明しますと、令和2年度は浦和南高校と内谷中学校で気質評価アプリ受験対象の拡大、実証実験の場の拡大、映像分析アプリ利用部活動の拡大を行いました。また、令和3年1月27日には、市長、教育長出席のもと事業報告会を実施したものでございます。続きまして③主な事業費の内訳につきましては、さいたまスポーツコミッションへの委託料として658万3千円を支出しております。下段の「3歳出予算執行状況」は最終予算現額Aの660万円に対して、支出済額658万3千円、不用額はDの1万8千円となっており、執行率は99.7%となっております。

続きまして14ページをお願いいたします。こちらが事業の3番目、中央図書館管理課所管の図書館施設リフレッシュ事業になります。事業の概要ですが、本事業は既存の図書館施設を標準で60年使用し、躯体の健全性調査の結果が良好な場合には80年以上を使用することを前提として、計画的に図書館施設を維持し、改修・建替えの時期を検討・実施することで、財政負担の平準化を図り、安全・安心で持続的な学習環境の確保を目指すものでございます。「2事業の実施状況」ですが、令和2年度は大宮西部図書館、宮原図書館及び七里図書館の中規模修繕工事を実施したところでございます。主な事業費の内訳ですが、事務室移転手数料として役務費3,239万6千円、大宮西部図書館中規模修繕工事として工事請負費2億7,727万1千円でございます。「3歳出予算執行状況」でございますが、最終予算現額3億3,356万5千円に対して、支出済額合計3億966

万6千円、不用額合計は2,390万円となっており、執行率は92.8%でございます。説明は以上でございます。

細田教育長 説明が終了いたしました。委員の皆様、御質問等がございますか。それでは、この件は終了といたします。

議案第39号 令和4年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について

細田教育長 続きまして、議案第39号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教職員人事課長 議案第39号、「令和4年度当初さいたま市立学校教職員人事異動の方針について」を御説明申し上げます。

議案書16ページを御覧ください。人事異動方針につきましては、これまで委員の皆様から御意見を頂きながら、本市の現状を踏まえ整理してまいりました。今年度も引き続き、教育委員会が全市的な視野等から異動が適切と考えれば異動させることを念頭に置き、適切に実施してまいりたいと考えております。それでは説明いたします。リード文でございますが、昨年度同様、第2期さいたま市教育振興基本計画の具現化を目指すこと、児童生徒が生き生きと学校生活を送り、学校教育に対する市民の期待に応えることを明記しました。リード文に続き具体的方針が6項目ございます。

1項目でございますが、人事の一番の基本である、各学校の気風の刷新と組織の充実と活性化を挙げ、各学校の課題解決や校長の経営理念の実現に向け、教育委員会の権限で適材を適時に適所に配置するという方針でございます。

2項目でございますが、教職員組織に学校間格差が生じないよう、全市的な視野で各学校の課題に応じた人事異動を行い、教育の機会均等を図るという方針でございます。

3項目でございますが、各学校の教職員構成の適正化に配慮することでございますが、例えば、一度に多数の教員が異動してその学校の教育活動の継続性が保たれない、あるいは良き伝統が継承されないなどということがないよう、長期的な展望を持ち計画的に異動を行うという方針でございます。

4項目でございますが、校種間の人事異動について、小・中・高等・中等教育・特別支援学校の特色を相互に理解し、専門性や系統性を踏まえた教育の充実を図ることで、12年間の学びの連続性を強化するため、より積極的に推進するという方針でございます。

5項目は、人事交流、県との人事異動に関する方針でございます。

令和4年度も国立大学法人埼玉大学附属学校、東京学芸大学附属学校、川口市立高等学校、川越市立川越高等学校との人事交流を実施いたします。また、埼玉県内の市町村立学校及び県立学校との人事異動を実施いたします。なお、これらについては関係機関と協議の上、実施をいたします。

6項目でございますが、自然体験活動の充実を図るため、令和4年度当初人事異動に合わせて、適材を公募により館岩少年自然の家に配置いたします。

説明は以上となります。御審議よろしくお願ひいたします。

細田教育長

何かございますか。

大谷委員

何点かお尋ね、要望をさせていただきます。

まず、2項目に教職員組織の均衡化に努めるということがありますが、私自身、教育委員の皆さんと分担して多くの学校を訪問させていただいて、そこで見受けられるのが、各学校の悩ましいこと、例えば一つの学年の担任団を編成するにも人のことで悩みを抱えている校長先生が見受けられるんですよ。ですから、一つひとつの各学校の人事状況にもっと目配りをしていただきたい。あまり学校の教育力に影響がないように本気になってやっていただきたいとお願ひを申し上げたい。これは要望ですね。

もう一つは5番なんですけど、これは大変良いことだと思っております。ただ、どのように行われたか分からないのですが、実際に他の学校や市町村に行ってきた方の経験をどう生かしているのか。例えば川口市立、川越市立、あるいは東京学芸大附属、埼大附属であるとか、そういうところでお勤めいただいた訳ですから、そういう方々の経験をどうフィードバックするのか、生かすのか。ただ、その方に行ってくださいました、御苦労様でただけで終わらせるのはいかがなものか。市町村が違えば当然教育の進め方が違うわけですから、その良さを、学びを生かす方策を考えていただいたらいかがかということの研究課題ということでお願ひ申し上げる。だから私は、人事異動を実施するのではなくて、推進するくらいでもいいんじゃないかという思いを持っております。他の市町村の良い空気をさいたま市に吹き込むという思いで推進してよいのではないかという思いを持っております。

すべて要望になってしまいました。お答えは結構ですが、思いを述べさせていただきます。

細田教育長

他にございますか。

野上委員

コロナで色々なことが変わったと思うんです。教育界においても大きく変わることがあるのかなど。人事異動につきましても、これまで経験したことのないことが起こって、さいたま市では先取的に色々な試みをなされたと思うんです。例えばエバンジェリストですよ、これをやった結果、何もエバンジェリストはデジタル化のためのエバンジェリストではなかったのではなかろうかと。教育現場でおそらく先生にも得手、不得手ということがあったとすると、デジタル化に伴う機器類の操作を不得手とする方もいらっしゃると思うんです。にもかかわらず、いろいろな学校を訪問させていただきましたが、教育を推進するためには堪能者になろうよという努力が学校の中で起こって、最初はエバンジェリストにふさわしい人がこの学校にはいるんだろうかと言って、校長にどのくらいいるんですかと聞くと、いま5名なんですと。ところがやってきてわかったんですが現状では8名いますと。どの学校に行っても増えてるんですよ。そんなに簡単にエバンジェリストが増えちゃうのかなと思ったんですが、同僚の先生が仲間こうすると子どもたちは反応するよと、他の先生に恥をかかせないで自分の仲間にしていこうということが起こったと思うんです。コロナウイルスは一過性なのかもしれませんが、こういったことを人事の中で、学校によってはまだ進捗していない学校があるのかもしれませんが。この人は今まで見なかった能力、エバンジェリストの中のエバンジェリストのような人をエバンジェリストが育たない学校に配置するような、しなやかな人事というのこれから必要になってくるんだろうなと思います。

教職員人事課長

御指摘ありがとうございます。いまお話いただいた内容はまさに、教員ですからそれぞれ個性を持っておりまして、得意な部分もあれば不得手な部分もあるという前提になると思いますが、エバンジェリストの例にあるように、得意な者が学校の組織の中で活躍していく、そういう風土を作っていくというの、これも人事異動の一つの効果かなど私は捉えております。人事異動の具体に当たっては、エバンジェリストも含めて教員ひとり一人の個性、適性を十分に見極め、所属長から聞き取って、組織の均衡、教員の資質向上にもつながるような人事異動に努めていきたいと思っております。

細田教育長

他にございますか。

細田教育長

それでは、議案第39号につきましては、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、原案のとおり可決されました。

議案第44号 さいたま市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について

細田教育長 続きまして、議案第44号につきまして、事務局から説明をお願いします。

教育総務課長 議案書別冊2の1ページから3ページを御覧ください。
議案第44号「さいたま市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について」を御説明いたします。

本件は、新型コロナウイルス感染症等への対応のため、情報通信機器を用いて教育委員会会議の開催等を可能とするため、規則の一部改正を行うものです。

改正内容につきましては、さいたま市教育委員会会議規則第2条の2に、情報通信機器を用いて教育委員会会議が開催可能とする定義規定を新たに設けるものとなります。

施行期日は、令和3年9月1日となります。

なお、4ページからは、令和2年7月28日付け文部科学省より発出された通知となります。本通知は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、オンライン会議システム等を活用し、教育委員会会議等を開催する場合における文部科学省としての考え方についてまとめられたものとなりますので、参考資料として添付しております。

また、6から8ページに現行の教育委員会会議規則を添付しております。

説明は以上となります。御審議の程お願いいたします。

細田教育長 何かありますか。

細田教育長 それでは、議案第44号につきましては、原案のとおりとしてよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、原案のとおり可決されました。
それでは、ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第40号 令和4年度使用さいたま市立各高等学校用教科用図書の採択について

細田教育長 それでは再開します。議案第40号につきまして、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長 それでは、議案第40号「令和4年度使用さいたま市立各高等学校用教科用図書の採択」について、御説明いたします。

まず、提案理由でございます。市立各高等学校におきましては5月から7月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会において、学校の特色や生徒の実態に即しながら、綿密な調査・研究を実施し、令和4年度に使用を希望する教科書を選定しました。

高等学校で使用する教科書につきましては、高等学校用教科書目録に登載されているものの中から採択することとなっております。また、小学校用及び中学校用の教科書の採択の流れとは異なり、採択地区及び採択期間の定めがございません。採択権者である教育委員会が、年度ごと、高等学校ごとに教科書を採択することとなっておりますので、議案として提案するものです。

次に、お手元の資料について御説明いたします。

まず資料1「教科書採択のための資料」を御覧ください。採択していただくための調査資料を、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校の順に綴じてございます。学校ごとに、初めに選定方針を示しました。続いて教科書一覧表、次にそれぞれの教科書の選定理由書、最後に教科書選定概要報告書を示してございます。

高等学校におきましては、令和4年度より学年進行で、1年生より新学習指導要領に基づく教育課程が実施されます。各学校におきましては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することを目指しております。

また、国語科における「現代の国語」・「言語文化」、地理歴史科における「歴史総合」・「地理総合」、公民科における「公共」、情報科の「情報Ⅰ」の必修化、数学科における「数学C」の設置など、新しい内容となっております。

令和4年度の1年生は、新教育課程の教科書が選定され、2・3年生の教科書については、現行の学習指導要領に基づいた教育課程で選定されます。前年度と同じ教科書を継続して使用する場合は、選定理由書にその継続年数を示してございます。

続きまして、47ページを御覧ください。資料2の「教科書採択に係る根拠法令・仕組み・スケジュール等」についてでございます。4

8ページに教科書採択に係る根拠法令等、49ページにさいたま市立高等学校の教科書採択の仕組み、50ページにさいたま市立高等学校の教科書採択のスケジュール、51ページ以降は文部科学省や教育委員会からの通知等を綴ってございます。

続きまして、91ページを御覧ください。資料3については、市立各高等学校の令和4年度教育課程表になります。

この後、3校の校長から説明をいただきます。説明の順番については、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校の順でよろしいでしょうか。

細田教育長 はい、結構です。それでは、浦和高等学校長から説明をお願いします。

浦和高等学校長 御説明申し上げます。お手元の資料の2ページから16ページまでが、本校の資料となります。

はじめに、3ページの「令和4年度使用教科書選定方針」を御覧ください。

本校の教育理念や教育目標の実現に向け、「生徒一人一人の能力や個性の伸長を図り、高い進学希望を叶える教育課程を編成して授業を展開」しており、選定方針の作成に当たりましては、本校生徒の学習に相応しい教科書を選ぶという視点ですすめました。

次に、4ページから6ページが「令和4年度使用教科書選定一覧表」、7ページから15ページが「令和4年度使用教科書選定理由書」になります。

新規に選定した教科書は、学習指導要領改訂に伴い教科書が改訂された令和4年度に入学する1年生の教科書17冊です。

2年生及び3年生の教科書は、結果として、すべて継続した選定となり、28冊です。

以上から、計45冊の教科書を選定いたしました。

続けて、16ページの「令和4年度使用教科書選定概要報告書」を御覧いただき、選定の手続きを御説明いたします。

3にございます「教科書選定委員会」を組織し、選定をすすめました。教科書等の執筆に携わっている教職員は任命しておりません。

1の「学校教育目標」及び2の、一昨年に若干の改訂を加えました「目指す学校像」、また、学習指導要領を踏まえ、大学入試にも対応できる生徒の学力の向上を、選定の大切な視点としております。

そして、4の「選定の経過」にありますように「教科書選定の方針」を職員会議で校長から全教職員に周知し、各教科から提出された「選定案」及び「選定理由」を確認し、校長決裁により、議案書の通り提出させていただいたところでございます。

決裁に当たっては、市立浦和の校長として、本校生徒が求める高いレベルの学習活動にふさわしいか、アクティブラーニングにも活用できる構成になっているかなど、本校生徒の学習に適しているかどうかの視点から判断いたしました。

選定した教科書について例を挙げますと、8ページの中段を御覧ください。1年生の「歴史総合」では、これまで定評のあった教科書を引き継ぎ、多くの学校が選定するであろうと思われる山川出版社の「歴史総合」707ではなく、本校の生徒の学びにふさわしく、特にアクティブラーニングに適している教科書として「歴史総合」708を選定いたしました。

他の教科書についても、本校の生徒の学びにふさわしいかどうかから判断し、選定させていただきました。

私からの説明は以上となります。採択に向けた、御審議をお願いいたします。

細田教育長

それでは、次の学校の説明をお願いします。

浦和南高等学校
長

お手元の資料の17ページから32ページが、本校の資料でございます。

本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

はじめに、18ページの「令和4年度使用教科書選定方針」を御覧ください。本校の学校教育目標の実現に向け、確かな学力の定着や大学進学のための実力錬成のために記述や資料などが生徒に理解しやすいものであるとともに、導入や題材、論の工夫がなされ、効果的な内容になっていることを重視し、本校の生徒の学習に相応しい教科書を選定する視点で取り組みました。

19ページから20ページまでが「令和4年度使用教科書選定一覧表」、21ページから30ページまでが「令和4年度使用教科書選定理由書」でございます。

新規教科書を19冊、継続で25冊の教科書を選定いたしました。

31ページから32ページの「使用教科書選定概要報告書」を御覧ください。中段の3にございます教科書選定委員会を組織し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。なお、教科書選定委員会に教科書執筆に係る教員はおりません。

本校は、学校教育目標を「探究心旺盛な自主自立の精神に充ちた心身共に健康な人材の育成」としており、目指す学校像は「文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる知・徳・体の調和がとれた人材を育成する学校」でございます。平

成29年度からは進学重視型単位制高校として、生徒の進路希望に対応して多様な科目を設置しております。

具体的に、新規に選定いたしました英語コミュニケーションⅠ、化学基礎、継続して選定いたしました世界史Aを例に御説明いたします。

まず、英語コミュニケーションⅠにつきましては、27ページの下段を御覧ください。24点の教科書の中から桐原書店の「Heartning English CommunicationⅠ」を選定しております。この教科書は、英語の理解、内容の要約、さらには発表へと活動が進められる構成と英語4技能5領域を効果的に育める構成になっております。取り上げられている題材が、安価な衣類の製造販売を通してSDGsへの意識を高めたり、DNAを使った恐竜再生の可能性を探るサイエンス分野の内容、スポーツや動物など多面的多角的なテーマが取り上げられており、文理融合的な視点でございます。

次に、化学基礎につきましては、25ページ中段を御覧ください。12点の教科書の中から実教出版「化学基礎 academia」を選定いたしました。化学基礎は1年次で履修するため高校理科の導入科目でございます。そのため、大学入試に対応できる内容であるとともに、授業をきっかけに、生徒自身が、イオンの結合などをアニメーション動画や実験などの実写動画で臨場感にあふれた解説を教科書のQRコードからアクセスできる自学自習しやすい構成の教科書でございます。

最後に、世界史Aにつきましては、22ページ中段を御覧ください。9点の中から第一学習社「高等学校 改訂版 世界史A」を引き続き選定しております。見開き2ページで1単元が完結し、地図や写真などでビジュアル的に認識させられるとともに、「日本とのつながり」などのコラムが充実しており、世界史と日本史の密接なつながりが具体的に理解できるように工夫されております。

また、学習内容の前倒しにつきましては、高校教育課の御指導のもと、教科書の4科目で早期購入を実施しております。例えば、数学においては、1年次に数学Ⅰと2学期末から数学Ⅱを実施し、数学Ⅲにつきましては、2年次2学期末から使用しております。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

細田教育長 それでは、次の学校の説明をお願いします。

大宮北高等学校 お手元の資料の33ページから46ページが、本校の資料でございます。

長

ます。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

資料34ページをお開きください。選定方針2, 3にございますように、生徒の「生きる力」を育み、生涯に亘って社会に貢献できる人材の育成を実現するため、個々の能力の伸長、確かな学力の定着を図ることのできる教科書であること、また大学進学にも対応できる教科書であることを重視し、37ページから45ページにありますとおり、新規を19冊、継続で25冊の教科書を選定いたしました。新学習指導要領の実施にあたり、新規に選定した教科書が例年よりも多くなりました。

資料46ページをお開きください。教科書選定委員会を「4 選定の経過」のように開催いたしました。来年度から新学習指導要領が実施されることを念頭におき選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。なお、教科書等の執筆に係る教員は、任命しておりません。本校は御案内のように普通科、理数科の併置校でございます。理数教育に係る素養は、普通科、理数科いずれの学科におきましても、これからの時代を生きていく上で、より必要になると考えております。また、21世紀型能力を育成する観点から、論理的な思考力、そしてコミュニケーション能力を育成することは重要でございます。普通科、理数科にかかわらず、こうした素養の修得・能力の向上を目指すということについて考慮いたしました。なお、こうした観点から、本校では普通科、理数科で同じ教科書を使用しております。

次に、教科書の選定につきまして、新規に選定したものを中心に説明いたします。

例えば、理科の「基礎」科目、「〇〇基礎」という科目名の教科書についてでございます。40、41ページ下段を御覧ください。理科では、日常生活や社会との関連性を重要と考え、幅広い知識を身に着けるようになりますが、いずれの教科書も、私たちの生活に関連した例題や実験を取り扱い、生徒の興味関心を引く内容です。記述が丁寧で詳しく、図表や写真なども多く使われており、ICTを活用した学習がしやすくなっております。また、科学的な見解や考え方を学び効果的に科学的技能を身に着ける学習が十分にできると考えています。さらに、「主体的な学び」・「対話的な学び」、それぞれに関係性を持たせながら考える力を育てる「深い学び」が実現しやすい内容になっております。「基礎」のない科目、「物理」「化学」「生物」の教科書につきましては、「基礎」科目とのつながりもよい一方、大学入試にも十分な内容を網羅しており、理数科を含め生徒は十分な学習ができると考えております。このような考え方を基にして新学習指導要領での各教科の変更点を考慮し、1年生の教科書を新規で18冊選定いたしました。

た。

また、3年生の家庭「子どもの発達と保育」につきましては、45ページ中下段を御覧ください。文章や図表が興味関心を持たせ深い学びが期待できること、全体を通じた難易度が本校生徒の実態に合っていることを踏まえ、実教出版の「子どもの発達と保育 新訂版」を新規に選定いたしました。

なお、学習内容の前倒しにつきましては、高校教育課の指導のもと教科書の早期購入を実施しております。1年生の後半から数学Ⅱを、2年生の後半から数学Ⅲを使用しております。

他の教科書につきましても、校内で審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところでございます。採択に向け、御審議をお願いいたします。

細田教育長

3校の説明に対し、何か御意見、御質問ありますか。

石田委員

新規に教科書を選択されている学校が多いですけど、5、6年というのはあるんですけど、2か所8年というのがあったんですね。そもそも特殊な科目で、浦和高校ですと書道Ⅲが8年目、浦和南ですと家庭科が8年。私の考えですと、8年も経つとだいぶ世間の発展が違ふと思うので、この2点については教科書が良いのだと思いますが、何かありましたら教えてください。

浦和南高等学校
長

お答え申し上げます。浦和南高等学校では、8年目の教科書が1冊、家庭科の「ファッション造形基礎」でございます。また、9年目の教科書で芸術の「工芸」という教科書がございます。どちらも教科書が1冊しかございませんで、他の教科書の選定ができないということで長期の継続使用となっております。

浦和高等学校長

御指摘いただいた教科書については、他の教科書会社もあるのですが、教科書会社ごとに定期的に改定を行っていたり、また、教科書ありきではなく、生徒の為になる教科書を選定するという方針で、結果として同じ教科書が続いてしまっているという現状でございます。

細田教育長

他にございますか。

武田委員

質問ではなく要望ですがよろしいでしょうか。各高等学校におかれましては、皆様それぞれの生徒の為に良い教科書を丁寧に選択いただきましてありがとうございます。私共も過日、実際の教科書を拝見しまして、確認をさせていただいているところで、有難いと思っております。

ます。私から3点ほど、個別の教科書そのものではなく、採択に係る要望を申し上げさせていただきます。

一つ目は、今回、旧課程から新課程に切り替わるということで、科目の名前が変わったり、また内容的にも様々な刷新がなされている訳ですので、高等学校の教科書採択は毎年行っているところではあるのですが、今回は特に課程が切り替わるということで、各学校の先生方には新しい課程の新しい視野に基づいた新しい学習目標というものを十分に理解して、新しい教科書の肝というか、意味とか意義をフルに生かした指導、授業も刷新するという気持ちでしていただければよいのかなと、同じ教員として思います。

二点目は各校の教育課程表についてですが、教科書はこの教育課程表に基づいて各学年について行われている訳ですけど、各校ではそれぞれの学校の特色に応じた教育課程表が組まれていると思いますけれども、現状は必ずしも生徒のニーズに合っていない部分が無いのかなということはおかねてより思っておりまして、例えば進路選択とか大学受験、また浦和高校では内進生と高入生の場合など、実は生徒たちにもいろいろ意見があるのではないかとということで、生徒たちの声を丁寧に聞き取って改善を検討することも必要ではないのかなと思っていたのですが、例えば浦和高校の場合、今回、かなり大胆かつ丁寧に対応してくださっているのも、大変有難いと思ったのですが、具体的には、例えば、これまで生物を選択しようとする、高入生の場合は2年3単位、3年4単位でゆっくり7単位を2年かけてやるところを内進生だと3年生の3単位しかないのも、ものすごいスピードで授業が進み、なおかつ夏休みにも何かするというかなり歪があった訳ですけど、それから3年生では科目が少ないからということで、3年なのに芸術が必修になってしまうとか、色んなことが今まであった訳ですけども、こういう点に関しては今回かなり改善がなされていて大変有難いと思います。生徒が納得できない今までの科目配分などはこれまでの進学実績にダイレクトに影響している可能性がございますし、旧課程から新課程に切り替わる今の時期は何か変更するのにちょうど良いタイミングでありますので、アンケートなどで実際に授業を受けている子どもたちの事例やデータなどを集めて、更に改善を図っていただきたいと思います。科目を履修する学年の変更にあたっては、採択する教科書の内容にも影響が及ぶ場合も考えられますので、教科書の選択にも関わることとして、より有機的で効果的な教育課程表に向けて、すべての市立高校で今後も調査検討を進めていただければと思います。ついでに申し上げますと、内進生、高入生の英語の問題なんですけど、浦和中の場合、英語をかなり前倒しで早く進めるけれども、高校に入ってしまうと高入生と同じ教科書、同じ進度でやると

ということで、あれは何だったんだということになっていると伺っておりますので、そういう英語の問題なども中高に亘って使う教科書その他、生徒の実態、希望に合わせて基礎学力の充実なども考えつつ、落ちこぼし、伸ばしこぼしがないように更に御検討いただければと思います。

三点目は、教科書と他の教材の活用についてということなんですけれど、高校の先生方は子どもたちから見ても何だか大学の先生みたいだねっていう場合も多くて、小中学校の先生方と比べてより専門性が高いし、また個性も強いところが大変大きな魅力でありますし、生徒の実情に応じて教材を選択したり、プロデュースしたりするという柔軟性も大いに尊重されて然るべきところだと思っておりますけれども、場合によっては教科書をろくに使わない、あるいはまったく使わないという例も無い訳ではないということを知り及んでおります。小中学校と違いまして高校の教科書は無償ではないので、ましてや各高校で自校に合わせて選択することを旨としているからには、基本的には教科書は使うものという前提であってほしいというふうに、保護者としても採択者としても思っております。そういうことで、校長先生方から各教科の御担当の方々にその辺りのことを指導いただければと思っております。

細田教育長

いま、大変重要な御指摘が3点ございました。まさに武田委員さんから御指摘をいただきましたとおり、旧課程から新課程になります10年に一度の大変重要な年であり、そして今般の新しい学習指導要領の改訂の中で、全校種を合わせて小学校よりも中学校よりも高等学校の学習指導要領が今回最も改革幅が大きかった。新しい科目も入っているところでございますので、まさにこのタイミングをフルに活用して更なる市立高校の特色化と飛躍に結びつけるような教科書採択になっていくことを強く望んでいくところでございます。武田委員さん、今ので何か回答を求めるところはございますか。

武田委員

いいえ。とにかく感謝申し上げますので、苦言と聞こえたかもしれませんが、よろしく願います。

細田教育長

それぞれの校長先生方、学校に戻りまして教職員にしっかりと今の旨、お伝えいただきたいと思っております。

細田教育長

他にございますか。

野上委員

大宮北高の校長先生に1点確認したいのですが、私は地理総合、歴

史総合というのは必須だと思っているのですが、北高の38ページを見ると地理総合はあるが歴史総合がないのは、何か特殊な事情があるのか、私の知識不足なのか、まずはそれを教えていただければと思います。

大宮北高等学校長 本校は2年生が履修することになっておりますので、今回の教科書選定には入っておりません。

野上委員 この中には2年生が入っていないくてよいということですか。

大宮北高等学校長 はい。来年度出てくる予定です。

野上委員 浦和高校の校長先生にお伺いするのですが、教科書の採択に当たって最終的には校長先生が決裁をなさるということになるのですが、例えば、地理総合、歴史総合というのは今回大きく変わったところですよ。このように大きく変わったときには、選定委員会の先生方が意見を言うのでしょうか。あるいは学校教育の目標に合致させるためには、他の教科の先生といえども意見交換があるのでしょうか。

浦和高等学校長 地理総合、歴史総合については大変重要な科目だと思っていますし、新しい教育課程の肝となる、何をどのように学んで何ができるようになるかという、今までの講義形式から一変してアクティブラーニングするには、とても重要な教科だと思っています。校長からまず教科の代表にその旨を伝えて、教科の方で話し合ってもらいます。そのあと、原案を作ったりする教育課程委員会というのがありますが、すべての教科の代表が集まった会議で意見を出します。そのあと職員会議で皆で討論してもらって、最終的に私の方で決裁するという流れになっておりますので、学校全体として校長の意思を反映した教科書選定が行われると考えていただければと思います。

野上委員 その場面では活発な意見交換が他教科の先生からあるのですか。

浦和高等学校長 教科の中では当然ありますし、教育課程委員会の中でも、こういう方針にした方がいいんじゃないかという校長の意思をもって話し合いますので、今回の歴史総合については意見がありました。校長の方でもアクティブラーニングを進めたいという気持ちがありましたので、賛同と従来型っていうのもいいんじゃないかという意見もありました。

野上委員 健全な討議を経て決まっていくというプロセスがわかりました。ありがとうございました。

大谷委員 校長先生方のお話を聞いて、校長先生がそれぞれ思い入れを持って教科書を選定していただいているということ、大変頼もしく思いました。ただ、武田委員さんからの御指摘はちょっとビクッという思いで受け止めました。というのは、私たちの教育というのは、学びの遅い生徒を引き上げるのは善なんです。だけれども、私も教壇に立ってましたけれども、学びの進んでいる子どもたちを更に伸ばしてあげよう、それはタブーだった訳ですよ。だけどそれは否定されて然るべきだと思うんですよね。個別、個に応じて最適化された指導をしていく。武田委員さんは伸ばしこぼしという言葉が使われましたが、そのとおりだと思うんですけれど、進んでるお子さんはちょっと待ってて、皆でゴールというような、それはあってはならないと思いますね。進んでいる子がいたらその子を更に伸ばしてあげる、進んでいる子には教科書を変えることがあって然るべきだと私は思いますけれど、伸ばすべき子を伸ばしてあげるということは、是非、お願いを申し上げたい。もちろん学びのスローなお子さん方には、しっかりと手を差し伸べていただきたい。また、進んでいるお子さんには更に教科書の早期採択等でですね、特に理数科のある大宮北高なんかにしても、学びの中で伸びる子は更に伸ばしてあげるという方針で取り組みをお願いしたい。私の要望でございます。

細田教育長 いくつか要望がございますので、各校長先生方、学校の中でしっかり反映させていただきたいと思えます。

石田委員 浦和高校で新規に生物基礎というのが採択されているんですね。これには免疫の働きという項目がありまして、非常にまとまってましてCOVID-19まで載っています。非常にタイムリーかなと思って。よく選定してくれたなと思って感謝しています。

細田教育長 他にありますか。

柳田委員 丁寧な説明ありがとうございました。質問じゃなくお願いになるんですけど、保健体育で性関連の情報なんですけど、どの教科書も少ないなと感じておりまして、どうしても避けてしまう部分かとは思いますが、大事なところだと思いますので、教科書以外の教材でもいいし、プラスアルファで御指導いただければと思いました。

細田教育長 ありがとうございます。今の御意見も是非反映させてください。他にありますか。それでは、学校ごとに採決を行いたいと思います。まず、浦和高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、原案のとおり採択されました。続きまして、浦和南高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、原案のとおり採択されました。続きまして、大宮北高等学校の教科書について原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、議案第40号は原案のとおり可決されました。
それではここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第41号 令和4年度使用さいたま市立大宮国際中等教育学校用教科用図書の採択について

細田教育長 それでは再開します。議案第41号につきまして、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長 本議案は、令和4年度からさいたま市立大宮国際中等教育学校で使用する教科用図書の採択をお願いするものです。高等学校用教科用図書と中学校社会（歴史的分野）と中等3年生および4年生で使用する「情報Ⅰ」の採択となります。

大宮国際中等教育学校では、令和4年度から、後期課程が設置され、高等学校の学習指導要領に則った内容も開始されます。

大宮国際中等教育学校におきましては、5月から7月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会において、学校の特色や生徒の

実態に即しながら、綿密な調査、研究を実施し、令和4年度に使用を希望する教科書を選定いたしました。

お手元の資料は、採択していただくための調査資料として、選定方針、教科書選定一覧表、教科書選定理由書、選定概要報告書、教育課程表を示してございます。

また、大宮国際中等教育学校は、一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う中等教育学校でございますので、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第3項」にもとづき、高等学校における教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書については、学校ごとに教科用図書の採択を行うことになっております。

昨年度、8月6日の臨時教育委員会会議にて令和3年度中学校用教科書について採択いただきましたが、その後、自由社が発行する社会（歴史的分野）の教科書が、文部科学省の教科書検定で新たに合格となりました。つきましては、現行で使用している東京書籍と、教科書検定で新たに合格となった自由社の2社を比較の上、令和4年度に使用する中学校（歴史的分野）の教科書について、採択していただきたく存じます。

また、「情報Ⅰ」については、分割履修をしている関係で、令和4年度に使用する「情報Ⅰ」の教科書を中学3年生で早期に採択していただきたく存じます。

よろしく願いいたします。

細田教育長

それでは、大宮国際中等教育学校から説明をお願いします。

大宮国際中等教育学校長

大宮国際中等教育学校初の後期課程、第1学年にあたる4年生の来年度使用する教科書について御説明申し上げます。

まず、お手元の資料2ページの選定方針を御覧ください。ここには4点挙げましたが、特に本校の特徴を踏まえた2点目・3点目がポイントとなります。

本校は今年5月に正式にインターナショナルバカロレアワールドスクール、これはMYP、ミドル・イヤーズ・プログラムの部分ですが、国際バカロレア認定校として認定を受けました。

また、本校は、全生徒が6年間一貫して教育を受ける中等教育学校として、現在1期生が3年生ですので、来年までの4年間のMYP、ミドル・イヤーズ・プログラム、その最終学年にふさわしい探究的で課題解決型の学習活動を展開し、本校の学校教育目標を達成する一助とすべく、教科書を選ぶ、そういった視点で教科書を選定いたしました。

資料2ページが、使用教科書選定一覧、3ページから6ページが選定理由書となります。来年度1期生が後期課程に進むことから、今回初めて高校の教科書を選定することになります。今回は高校1年生にあたる部分だけですので、9教科、16冊を選定いたしました。また先ほど、高校教育課長から御説明がありましたとおり、前期課程で使用する社会科の歴史の新規教科書を改めて選定いたしました。

次に7ページから8ページの選定概要報告書に記しましたように、本校では教科書選定委員会を組織し、選定いたしました。この中に、教科書等の執筆に携わっている教職員は、選定委員に任命しておりません。本校の学校教育目標及び目指す学校像、また改められた学習指導要領を踏まえ、未来の学力を備え、国際的な視野を持つ生徒の育成を選定の大切な視点としております。そして、4の選定過程にごさいますように、教科書選定の方針を職員会議で校長から全教職員に周知し、各教科から提出された選定案及び選定理由を確認し、校長の責任のもと、選定案を決裁いたしました。

各教科の教科書16冊をできれば全てについて御説明申し上げたいのですが、いくつかの教科・科目について例示をさせていただきます。

まず、新しい科目として設定された地理・歴史のうち「地理総合」と「歴史総合」です。出版社は異なるものでありますが、いずれもその教科書の構成、テーマに基づく編成などから、大変探究的な学習活動に適していると判断しました。

また、これは地歴の教科書に限りませんが、時代の潮流を受け、また、本市がその推進をしている市であることを踏まえ、どの教科・科目についてもSDGsについて必ずページが割かれています。「地理総合」・「歴史総合」についても言うまでもなく、SDGsの17のゴールのうち、こういった現実の事象が17のゴールのどれに該当するか、それをまず考えていく。そして、いろいろと学習を進める最後には、必ず自分たちに何ができるかという問いかけがなされているのが、今回の改訂を受けての教科書全般を通して言えることだと実感いたしました。そうした中、「地理総合」は、帝国書院の「高等学校 新地理総合」、これが地球的な課題やSDGsについての資料が多く、その課題に取り組みやすい工夫がされていると考え選定いたしました。また、「歴史総合」は、山川出版社の「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」を選定いたしました。非常に視野の広い、生徒自身がさまざまな事象を根拠に基づいて考えを深め、さらに表現することができるような問が工夫されています。この山川の大判の新版の歴史総合の教科書は、テーマ別に44の学習テーマが掲載されています。ただ、標準単位数は2単位であり、本校が学校の方針として高校

2年生相当の5年生、高校3年生相当の6年生で、国際バカロレアのディプロマプログラムを導入すべく準備を進めているところから、高校卒業に必要な必履修科目については、いずれも最低限の標準単位数でしか教育課程を編成することができません。歴史総合は2単位年間70時間ですので、いかにテーマを設定していくかが課題かと考えています。

もう1点、情報については、3年生で分割履修をしている関係で早期購入をすることとなります。

最後に、社会の歴史的分野ですが、昨年度、東京書籍「新しい社会（歴史）」を採択いただいたところです。今回改めて、自由社の教科書を研究し、東京書籍と比較・検討することをしてみましたが、本校としては、地理、公民が東京書籍であることも踏まえ、引き続き東京書籍を選定いたしました。以上、すべて校長決裁により提出させていただいたところです。採決に向けて御審議をお願いいたします。

細田教育長 委員の皆様、何か御意見ありますか。

石田委員 先程も言いましたが、浦和高校と同じ数研の生物基礎、免疫のところよく書かれています。

野上委員 I B校として誕生したこの学校の、さいたま市教育における任務というのでしょうか、あるいは何でこの学校がと言えば、モデル校、これからの学校運営に当たって、そういった知識を大前提として必要ですと。それがいま校長先生からありましたが、歴史総合にとっても、地理総合にとってもある意味で地政学的な認識がないと、これから社会に出ていく過程ではとっても必要になると。それがすべてのところへ影響してくるというモデル校としての大宮国際中等教育学校にさいたま市がトライしたってということがすごいことでありまして、是非、大宮国際中等教育学校が他の小学校、中学校、高校の羅針盤になるような、こういうことが解決されれば正解のない問いに対して自分の考えが述べられるというような、これからの時代を担う子供たちに必要な要素でありますので、是非、自校だけでなく他のさいたま市内にある小中高にそれを広げていただきたい。そうすれば、PISAでよく言われている読解力、読み解く力というのは何の科目にも必要なことですから、是非、広めていただきたいなと思います。

細田教育長 他にありますか。

細田教育長 それでは、大宮国際中等教育学校の教科書について、原案のとおり

採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 出席委員全員の賛成により、議案第41号は原案のとおり可決されました。

議案第42号 令和4年度使用さいたま市立中学校用教科用図書の採択について

細田教育長 続きまして、議案第42号について、事務局から説明をお願いします。

指導1課長 本議案は、令和4年度からさいたま市立中学校で使用する教科用図書社会（歴史的分野）の採択をお願いするものです。

昨年度、8月6日の臨時教育委員会会議にて令和3年度中学校用教科書について採択いただきました。その後、自由社が発行する社会（歴史的分野）の教科書が、文部科学省の教科書検定で新たに合格となりました。

文部科学省より26ページにございますとおり通知がございました。これらの通知を踏まえ、現行で使用している東京書籍と、新たに合格となった自由社の2者を比較の上、中学校社会（歴史的分野）の教科書について、採択していただくことをお願いしたいと存じます。

細田教育長 教育委員の皆様におかれましては、本日までに、埼玉県による調査資料を参考資料として、実際に教科書見本本を手に取り、御覧いただいているところでございます。この場では、閲覧の時間を設定せず、協議を行い、採択を行いたいと存じます。以上の進め方でよろしいでしょうか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは協議を行います。委員各位、御意見はありますか。

大谷委員 自由社、十分見させていただきました。こういう点が良かったというのは、歴史の流れというものを大切にするというのはそのとおりなんだと思いますが、どんな人だったのか個々の人物をクローズアップさせる、例えば二宮尊徳、あるいは福沢諭吉、その他の歴史上の人物をクローズアップしてその人間がどうだったか、そういうところが非常によくできている、子どもたちの興味関心を引くという意味でよく

できていると思いました。

ただ、現行の東京書籍を見ますと、こういった点で優れているんですね。見開き1単位授業の学習の内容の学習課題が冒頭に非常によく明示されている。これはこの教科書のよい点だと思いますね。そしてまた、歴史的な見方、考え方、あるいは現在とのつながりであるとか、その辺の問題提起が非常によく書かれている。更に私自身はこれが決定的かなと思ったんですけども、東京書籍にはデジタルマーク、そして2次元コードが記載されているんです。ですから、そのところから様々な教科書以外の資料にもアクセスできる訳です。家庭学習等で非常に厚みのある学習ができるということで、それぞれ特色はあるのですが、私自身はそれらを比較しまして、自由社のよい点、私自身が良かったなと思う点と比較しまして、でもやはり、いま話した内容からすると、東京書籍でよろしいんじゃないかという思いであります。

武田委員

いま大谷委員が仰ったことに付け加えになるのですが、3点お話をさせていただきたいと思います。

一つ目はいまお話しがありました教科書のつくりでICTの活用、QRコードの有無という部分なんですけれど、やはり、特に社会でしかも歴史的分野の場合は、教科の特性として子どもが自分で判断する力を伸ばす、そのために自分で多くの資料に当たるということが必要かと思えますけども、やはりQRコードで色んな資料にアクセスできるかたちであるということで、教科書を起点として学びの可能性が大きく広がるかたちになっているというのがQRコードのある東京書籍の特色かと思えますし、また、東京書籍の場合は同じくQRコードのある地理的分野の教科書と横断的学習の発展が可能である。また、さいたま市が推進するICT教育で一人一台タブレットの学習形態には効果的に対応していくということが、現在コロナウイルスの関係で家庭学習やオンライン授業が必要になってきている訳ですので、いま、特にそれは重要性が増々大きくなっているかなというふうに思えますし、こういうQRコードがあるメリットというのを敢えて手放すことの必然性はないんじゃないかというのが一点目です。

二点目は先ほど大宮国際の話でもありましたけれども、さいたま市の教育が推進するSDGsとの関係で、教科書を作る上でSDGsの視点があるかないか、それに伴う歴史観がそもそもどう違うのかというのを見ても、東京書籍の方はSDGsというのを色んなかたちでクローズアップしておりまして、例えば巻頭の3ページ、それから本編の1ページを見ますと、表紙を開いてすぐの見開きで2枚くらいめくったところに「持続可能な社会の実現に向けて」というタイト

ルで、歴史という教科の根本にSDGsを位置づけて、歴史の学びの始まりにこのSDGsの問題意識を提示しています。また、270、271ページを見ますと、教科書本文の締めくくりの方で持続可能な社会に向けてというセクションを見開き2ページに亘って設定していて、歴史の学びをいかにこれからの実社会の課題につなげていくかについて詳細かつ多面的にこの内容を展開している訳なんですね。

一方で自由社にはSDGsがまったく出てきておりません。教科書の内容が歴史そのものに限定されていて、教科横断的な発展性という視点が見られないかなと思うんですけども、こういうSDGsの扱いの差というのは、各社の歴史観の違いが端的に表れているところかと思えます。

東京書籍の1ページを見ますと、私たちはなぜ歴史を学ぶのでしょうか、それは私たちの未来を考えるために歴史が必要とされるからですという考え方で、自由社の方は2ページのところで「歴史を学ぶとは」というタイトルで、御先祖が生きた歴史という項目を立てて、御先祖ということを繰り返して強調しているということで、東京書籍の場合は未来のために過去を学ぶというかたちで、未来志向と過去志向を両方打ち出すバランスの取れた姿勢かなと思えます。

一方、自由社は、やや過去志向に傾きすぎて御先祖崇拝にならないか、先ほど、人物が充実しているというお話がありまして、これ自体は大変大事なことではあるのですが、過去の過ちを客観的に見る妨げにならないのかなという懸念がちょっと残ります。

未来を見つめて3つのGを掲げていくさいたま市の姿勢には東京書籍の方がマッチするのではないかと思います。これは昨年度採択をしたときの一つの理由でもあった訳ですので、一貫性というのではできれば守りたいというふうに思っております。

最後に3つ目には、学習者の立場になって申し上げますと、いまの指導要領でとにかく主体的な思考を喚起するというので、どの教科もキャラクターというものがいろいろ使われている訳なんですけれども、東京書籍では5ページでキャラクター6人が紹介されています。自由社では7ページでキャラクター2人が登場している訳なんですけれども、一番大きい違いは、東京書籍は6人もいて多いんですが本文では一切出てこない。最後の活動の部分でワイワイやっているというふうなことなので、これは教室での話し合いの活動のモデルになるというかたちで多くてもそれはよいのかなと思うんですけど、一方で自由社ではキャラクター2名が全編に亘って登場してくる訳なんですね。なので、基本的に事実を学ぶべき部分でも何か脇でチョロチョロ言っているというふうなこと、誘導にならないのかちょっと心配です。しかも、試験勉強をしているときにこの2人がチョロチョロ

しているのはちょっと邪魔かなというふうに私が学習者だったら思う訳なんですけれど、そういうことで子どもが勉強する場合にどうかたちが一番サポートになるかということ考えた場合、東京書籍の方が適切なのかなというふうに思いますし、その6人というのも多いんですけど、大人と子ども、教員と先生、それから男の子、女の子でも複数いることでいろんな子がいるということで個性差とか個人の個性にも配慮された構成なのかなというふうに思いますけども、自由社の方は男女1名ずつだけなので、つい男子の見方、女子の見方というふうに役割が固定されてる印象がちょっとあるんですね。多少配慮はなされていて、女子の方が先に発言してることもあるんですが、全体を見ていくとやはり男子主導の会話というか、女の子が受けというイメージがあるかなというところで、役割の固定という部分が少し気になるというところと、後半になりますと、いきなりどこかの弟とお兄さんが出てきたり、姉と妹が出てきたりということで、キャラクターの扱いが雑とは言いませんが、行き当たりばったりで、子どもたちは少し戸惑うのかなというふうに思って、そういう勉強のしやすさということを見ると、東京書籍の方が適切かなというふうに思いました。

以上3点のことから現行の教科書をそのまま使っていったら、実際に教えていることで先生方が日々の授業で培われているこの教科書のノウハウというのをそのまま使い続けていっていただくのが良いのかなと思います。

細田教育長

お二人の委員さんから、現行、私どもが採択しております東京書籍について、御推薦をいただく意見が出ております。双方の歴史教科書それぞれ良い点があるけれども、さいたま市の中学生が歴史を学ぶという観点からすると、ICTを活用しやすい、それからSDGsと歴史の学びをしっかりとリンクさせている、そして学習者の視点から東京書籍の方が学びやすいつくりになっているというような御意見がございました。

それ以外に何か御意見ありますでしょうか。

野上委員

私は教育的な知見も少ないのですが、歴史教科書についてはこう思っております。不幸な教科書だなと。何故ならば、大部分大切な歴史教育なんですけども、多くのところが戦争で割かれているページがものすごくあって、それ以外にいろいろあるだろうと。というのは、さっき地政学のことを言いましたけども、これからの子どもたちは、地球を俯瞰して見たときに、たしかに戦争があれば何かが起こってくるんですけど、そうじゃなくて、環境だとかいろいろな点も含めた地球

を俯瞰した歴史書が必要なんだろうなど。

こういう歴史で地球は発展してきたんだ、でもしかし、こういう背景があるよというような、いまの中近東、アフガンなんかの問題を見れば、どうしてこうなっちゃったのというようなところへですね、やっぱり広げていくべき、ある意味で未来を背負った子に教えていくわけですから、やっぱり建設的というか健康的なところも含めた歴史教科書になっていただきたいなというふうに、この2冊お借りしたときに、そうしてみると、いま先生方が仰っていただきましたけども、東京書籍の流れで教えた方がスムーズにいくんだろうなど、これからは是非そういう視点で教科書が出来上がってくればいいなど。これは願望であります。以上です。

細田教育長

ただいまお三方から現行の東京書籍について賛成の御意見がありますが、このことについて反対の御意見の方はいらっしゃいますか。

石田委員

反対じゃないんですけど、東京書籍の最後のページに保護者の皆様へと書いてあるんですね。豊かな学びが未来を拓くということで、中学校社会の教科書、地理、公民、歴史と同じ会社の教科書で関連性を持っていますので、是非このまま継続してやってほしいんです。

それから自由社もなかなか良いところがありまして、具体的に言いますと64ページに修学旅行で行く奈良・京都、100ページに日本人の名前の由来を訪ねてみたという、日本人の名前はこういうことで片寄ってできているという地域性が書かれています。それから136ページ、幕府の改革がしっかりまとめて一覧表になっている。何とかの改革、何とかの改革と非常に分かりにくいんですけど、まとめられています。148ページの近代の日本のまとめ、これも非常にわかりやすく一覧表に載っているの、検定を通っている教科書だけあって大変よくまとめられていると思っています。

全体的にいろいろ見ますと、解体新書とか浮世絵についてとか、その他いろいろ見ましても、東京書籍の方がそういう点については詳しく載っていますので、今まで通り是非、使いやすい教科書であるから、東京書籍を推薦、現行通りお願いしたいと思います。

細田教育長

東京書籍をとこの御意見がすべてでございますので、審議の結果、中学校社会の歴史的分野につきましては、東京書籍、新しい社会（歴史）を採択してよろしいでしょうか。

各委員

<異議なし>

細田教育長 それでは、委員全員の賛同がありましたので、中学校社会（歴史的
分野）は、東京書籍、新しい社会（歴史）を採択することといたしま
す。

議案第43号 令和4年度使用さいたま市立浦和中学校用教科用図書の採択につい
て

細田教育長 それでは議案第43号につきまして、事務局から説明をお願いしま
す。

高校教育課長 本議案は、令和4年度からさいたま市立浦和中学校で使用する教科
用図書社会（歴史的分野）の採択をお願いするものです。

さいたま市立浦和中学校は、さいたま市立浦和高等学校との併設型
中高一貫教育校でございますので、「義務教育諸学校の教科用図書の
無償措置に関する法律第13条第3項」にもとづき、高等学校におけ
る教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課
程において使用する教科用図書については、学校ごとに教科用図書の
採択を行うことになっております。

昨年度、8月6日の臨時教育委員会会議にて令和3年度中学校用教
科書について採択いただきましたが、その後、自由社が発行する社会
（歴史的分野）の教科書が、文部科学省の教科書検定で新たに合格と
なりました。

つきましては、現行で使用している東京書籍と、教科書検定で新た
に合格となった自由社の2社を比較の上、中学校（歴史的分野）の教
科書について、採択していただくことをお願いしたいと存じます。

細田教育長 先ほどの議案第42号と同様に、埼玉県による調査資料を参考資料
として、実際に教科書見本を手に取り、御覧いただいているところ
でございますので、先ほどと同様に、閲覧の時間を設定せず、協議を
行い、採決を行いたいと存じます。以上の進め方でよろしいでしょ
うか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは協議を行います。委員各位、御意見はありますか。

各委員 <なし>

細田教育長 なしという声もございました。同じことで、先程の議論が十分なさ

れていると思いますので、浦和中学校の中学校社会（歴史的分野）については、東京書籍を採択してよろしいですか。

各委員 <異議なし>

細田教育長 それでは、委員全員の賛同がありましたので、浦和中学校の中学校社会（歴史的分野）は、東京書籍を採択することといたします。

そして、先程、大宮国際中等教育学校も同様に歴史的分野の教科書につきましても、一括して学校の御提案で採択したということを再度確認させていただきます。

細田教育長 ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

傍聴の方に申し上げます。先ほど決まりましたとおりにここからの審議につきましては、非公開となりますので御退室ください。

報告第3号 さいたま市教育委員会事務局及び教育機関の課長（課長相当職を含む。）以上の人事について

<非公開案件につき内容は省略>

報告第6号 全国学力・学習状況調査結果について

細田教育長 続きまして、報告第6号について、事務局から説明をお願いします。

教育研究所長 報告第6号につきまして、教育研究所より報告させていただきます。お手元の資料に沿って御説明させていただきます。

こちらの調査結果につきましては、国による結果公表日の8月31日、火曜日の5時までは非公開となりますので、お願いいたします。

令和3年度全国学力・学習状況調査のさいたま市の結果の概要についてでございますが、はじめに、教科に関する調査でございます。資料1を御覧ください。さいたま市は小・中学校ともに教科に関するすべての調査におきまして、全国の平均正答率を1.8～2.8ポイント上回っております。

続きまして、資料2の①②を御覧ください。こちらの資料は平成31年度から令和3年度の3年間分の平均正答率を示したものでございます。資料2の①が小学校、②が中学校の結果でございます。令和2年度は調査が中止となりましたのでハイフンで示してございます。御覧のように、本市の結果はこれまでに引き続き、全国や県、大都市、指定都市の結果を上回っており、本市児童生徒の学力につきましても

概ね良好な状況にあると考えられます。

資料3を御覧ください。こちらは教科に関する調査の内容、領域等別平均正答率を示した資料でございます。本市の結果は、小学校、中学校の国語、算数、数学のほぼすべての領域等で全国の平均正答率を上回る結果となっております。特に中学校数学の図形の領域は最も大きく、全国の平均正答率を5.2ポイント上回っております。

次に児童生徒質問紙調査につきまして御説明申し上げます。資料4を御覧ください。本年度の調査では、生活習慣や学習習慣に関する質問が小学校、中学校ともに69項目ございました。その中から市の教育施策と関連が深い等の視点から24の項目を取り上げ、結果を示させていただきました。水色の網掛けの部分は全国と比べて肯定的な回答の割合が高くなっているものを、オレンジ色の部分は低くなっているものを示してございます。生活習慣に関する質問項目であります「2 自分には、よいところがあると思う」や今回の調査から新設されました「3 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」などの質問項目で、小・中学校ともに全国と比べ肯定的な回答の割合が高くなっています。特に「2 自分には、よいところがあると思う」という質問項目では全国を大きく上回っており、本市の児童生徒の自己肯定感の高さが伺えます。

また、令和2年4月から5月頃の臨時休校をしていた時期についての質問項目でございます「22 勉強について不安を感じた」では、中学校において「当てはまらない」と「どちらかといえば、当てはまらない」を合わせた値が全国を下回っており、不安を感じていた生徒が比較的多くいたことがわかります。しかし、「23 計画的に学習を続けることができた」「24 規則正しい生活を送っていた」の質問項目では、小・中学校ともに全国と比べて肯定的な回答の割合が高くなっております。各学校における適切な支援の成果であると考えております。

一方で「18 今住んでいる地域の行事に参加している」の質問項目では、小・中学校ともに肯定的な回答の割合が全国を下回るとともに、平成31年度の調査結果と比べても下がっております。今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響等から、行事の中止や自分自身の健康を守るための外出自粛が影響しているものと考えられます。研究所からの報告は以上でございます。

細田教育長

説明が終了いたしました。委員の皆様、御質問等がございますか。それでは、この件は終了といたします。

以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。

これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

8 閉 会 午前 1 1 時 4 4 分